

南アルプス（中央構造線エリア） ジオパーク



専門員の小澤さん

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークは、富士見町・伊那市・大鹿村・飯田市の4市町村にまたがる地域にあり、2008年に日本ジオパークに認定されました。一番の自慢は南アルプスの雄大な自然で、その自然をつくりあげた数億年にわたる地殻変動とその痕跡、そしてその上に暮らす生き物と人の暮らしや文化など、あらゆるものがこのジオパークの見どころになっています。

各地の見どころをめぐるジオツアーでは、ガイド会に所属する約40名のガイドが案内をしてくれます。お話を伺った伊那市観光課エコパーク・ジオパーク推進係専門員の小澤恵理さんによると、「まず地元の人たちに地域のすごさを知っていただき、その魅力を再発見していただくこと」を大切にしたいとのことでした。



林道バス・ジオラインコース（伊那市提供）

4市町村等がつくる協議会では毎年ガイド養成講座を企画開催し、これまでに118名の講座修了者が生まれたそうです。ガイド養成講座には2013年度から高校生も参加するようになりました。さらに講座を修了した高校生がガイドとして



南アルプスジオパーク（協議会事務局提供）

地元の小学生を案内するなど、その活動は小澤さんが言われたように、広がりや深まりを見せているようです。広大なエリアなのでここでは紹介しきれません。詳細情報については、下記のホームページをご覧ください。（聞き手：富樫 均）

ジオパークとは？

特色のある地形や地質などが見られる地域を「ジオパーク」と認定し、そこを拠点に地域を保護・保全し、観光や教育等に役立てる活動が行われています。2015年にはユネスコの正式なプログラムとなりました。国内には8地域の世界ジオパークと43地域の日本ジオパークがあり（2018年1月現在）、長野県内には、南アルプスの他に栄村を含む苗場山麓ジオパークがあります。

◆関連情報

- ・南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークHP
<http://minamialps-geopark.jp/>（協議会事務局は伊那市商工観光部にあります）